



JP9188338

Biblio

Page 1

esp@cenet

**HANGING CONTAINER, OR BAG FOR PACKED COMMODITY**

Patent Number: JP9188338  
Publication date: 1997-07-22  
Inventor(s): KOGURE MASAHIRO; MARUHASHI KEIJI  
Applicant(s):: PILOT CORP:THE  
Requested Patent: ☐ JP9188338  
Application Number: JP19960020386 19960111  
Priority Number(s):  
IPC Classification: B65D33/14  
EC Classification:  
Equivalents:

**Abstract**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To prevent a hook hole from deforming due to the weight of a commodity being housed in a container or a bag, and make hard to generate cracks around the hook hole by a method wherein as the hook hole, a first hook hole and a second hook hole of which the hole widths in the vertical direction for the hanging direction are different, are arranged while separating them.

**SOLUTION:** On a container 11 for hanging, a member 19 for hanging where a lid part 18 and hook holes 21, 22 are provided, is integrally formed, and the member 19 for hanging is heat-welded to the end of a bottom part on the opening side of the container. On the member 19 for hanging, as a first hook hole 21 for an L-shaped hook, a circular hole of approx. 8mm is provided, and also as a second hook hole 22 for a U-shaped hook, a hole of which the width in the hanging direction N is approx. 4mm, of which the width in the vertical direction M to the hanging direction N is approx. 31mm, and both ends of which are semi-circular, is provided. When a commodity is housed in the container 11 for hanging, and an L-shaped hook is engaged with the first hook hole 21, or a U-shaped hook is engaged with the second hook hole 22, a deformation and cracks do not generate.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-188338

(43)公開日 平成9年(1997)7月22日

(51)Int.Cl.<sup>8</sup>  
B 6 5 D 33/14

識別記号 庁内整理番号

F I  
B 6 5 D 33/14

技術表示箇所

A

審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平8-20386

(22)出願日 平成8年(1996)1月11日

(71)出願人 000005027

株式会社パイロット

東京都品川区西五反田2丁目8番1号

(72)発明者 木暮 正広

群馬県伊勢崎市長沼町1744-2 株式会社

パイロット伊勢崎工場内

(72)発明者 丸橋 啓二

群馬県伊勢崎市長沼町1744-2 株式会社

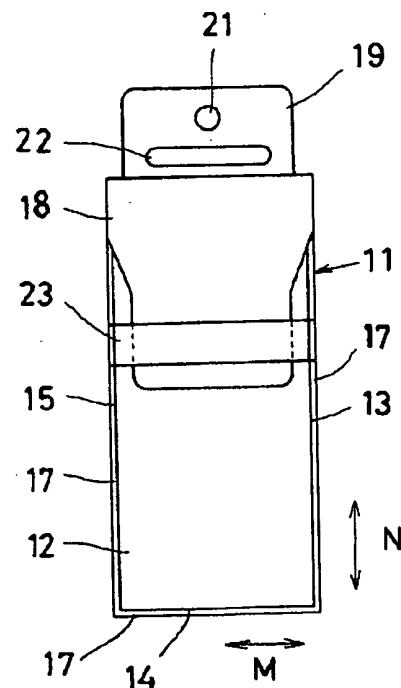
パイロット伊勢崎工場内

(54)【発明の名称】 吊り下げ用容器又はバック商品用袋

(57)【要約】

【課題】陳列用台等に付設されたフックに係止して吊り下げるためのフック孔を有した吊り下げ用容器又はバック商品用袋において、フック孔にフックに係止した際に、容器又は袋内に収納された商品の重みによりフック孔に亀裂が生じにくいようにすること。

【解決手段】陳列用台等に付設されたフックに係止して吊り下げるためのフック孔として、吊り下げ方向に対して垂直方向の孔幅が大小異なる第1のフック孔と第2のフック孔を離間して設ける。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】陳列用台等に付設されたフックに係止して吊り下げるためのフック孔を有した吊り下げ用容器又はバック商品用袋において、フック孔として、吊り下げ方向に対して垂直方向の孔幅が大小異なる第1のフック孔と第2のフック孔を離間して配設したことを特徴とする、吊り下げ用容器又はバック商品用袋。

【請求項2】前記フック孔が、容器又は袋本体に付設された吊り下げ用の部材に上下に離間して配設してなる、請求項1に記載の吊り下げ用容器又はバック商品用袋。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は、陳列用台等に付設されたフックに係止して吊り下げるためのフック孔を設けた吊り下げ用容器又はバック商品用袋に関する。

**【0002】**

【従来の技術】従来、陳列用台等に付設されたフックは、図5の(a)に示すようなL字型のフック101や、(b)に示すようなワイヤーをU字型に形成して先端部を上方に折曲してなるフック102のタイプの2種類がある。そのために、図6に示すように、吊り下げ用容器やバック商品用袋においては、陳列用台にどちらのフックが付設されていても対応できるようにと、吊り下げ用容器やバック商品用袋に設けるフック孔51は、前記フック102に係止するための長円状の孔52の上縁部53aの中央に、前記フック101に係止するための半円状の孔54を接続した形状に形成してある。

**【0003】**

【発明が解決しようとする課題】しかし、吊り下げ用容器やバック商品用袋は、軟質の塩化ビニル樹脂シートや軟質の合成樹脂のフィルム等で形成されているものもあり、図6に示したような、前記フック孔51を設けた部分55も軟質の塩化ビニル樹脂で形成した、いわゆるビニールシース50と呼ばれているものにおいては、商品を収納して孔54にL字型のフック101に係止すると、図7に示すように、重みで孔54を支点として下方に引っ張られるので、孔52の上縁部53aは変形し、孔52の縁部53に亀裂56を生じてくるという問題があった。

【0004】こうした問題を解消しようすると、少なくともフック孔を形成した部分又は吊り下げ用の部材を硬質な材料に変えたり、その部分の厚みを変えたりしなければならない、材質的や加工の煩わしさなどからコスト高を招き、現実問題として、こうした解決方法は満足できるものではない。

**【0005】**

【課題を解決するための手段】本発明は上記問題を解決するために、吊り下げ用容器又はバック商品用袋において、フック孔として、吊り下げ方向に対して垂直方向の孔幅が大小異なる第1のフック孔と第2のフック孔を離

間して配設するものである。

【0006】さらには、前記2つのフック孔を、容器又は袋本体に付設された吊り下げ用の部材に、上下に離間して配設する。

**【0007】**

【発明の実施の形態】本発明は、吊り下げ用容器又はバック商品用袋におけるフック孔において、2種類のフックに対応して、吊り下げ方向に対して垂直方向の孔幅が大小異なる2つの孔を離間して設けるものである。

【0008】現時点における陳列用台等に付設されたフックは、図5の(a)に示すようなL字型のフック101と(b)に示すようなU字型のフック102のタイプの2種類なので、L字型のフック用の第1のフック孔は、フックの線径を内包する大きさでなければならない。具体的には、フックの線径は大体3〜5mm位のワイヤーで形成されているので、それより大きいサイズとなる。孔の形状は、円形、楕円、三角形、四角形、菱形等でよく、特に限定されないが、フックに係止したときに、フックの位置が孔内で移動しにくい形状のものが良い。また、同様の理由から孔の幅は、大きければ良いというものでもなく、例えば孔を円形に形成した場合などは、円形幅は約10mm以下が好ましい。

【0009】U字型のフック用の第2のフック孔は、フックの前記フック孔に係止する部分の幅(図5の(b)において幅L)より太幅であれば良く、吊り下げ方向に対して垂直方向の孔幅は、一般的には30mm前後あれば十分である。孔の形状は、前記L字型のフック用の第1のフック孔の場合と同様に、特に限定されないが、U字型のフックに係止したときに、フックの位置が孔内で移動しにくい形状のものが良い。また、吊り下げ方向の孔幅は、U字型のフックを形成するワイヤーの線径より若干太幅であればよく、容器又は袋に占める第2のフック孔のスペースをなるべく少なくして、商品を容器又は袋内に収納するスペースを多くするためにも、約4〜6mmが良い。以上のような事を考慮すると、U字型のフック用の第2のフック孔は、吊り下げ方向に対して垂直方向の孔幅の方が長い、長円、楕円や長方形等の形状のものが良い。

【0010】こうした2つのフック孔は、互いに離間して容器又は袋に配設するが、フック孔を形成する容器又は袋の部分を多くのスペースでとることなく配設するには、吊り下げ方向に対して上下に配設した方がスペース的に有利である。例えば、フック孔を容器又は袋本体に付設した吊り下げ用の部材に配設する場合には、従来の吊り下げ用の部材をそのまま利用できなくとも、従来の吊り下げ用の部材よりサイズを若干大きくするだけで事が足りる。どちらのフック孔を上段に配設するかは、特に限定されない。

**【0011】**

【実施例】実施例を、図面を用いて説明する。図1は、

軟質の合成樹脂のフィルムで形成されたバック商品用袋における実施例である。バック商品用袋1は、軟質の合成樹脂のフィルムで形成された袋本体部分2の上部に熱溶着部3を施して、その上部をフック孔を形成するための吊り下げ用部分4としてある。下端5には、二点鎖線で示した筆記具等の商品6の挿入口（図示せず）を封する蓋部7を形成してある。バック商品用袋1自体は、従来からある構造のものである。

【0012】前記吊り下げ用部分4には、その中央部の上方に、図5の(a)に示すようなL字型のフック101用の第1のフック孔8として、約8mmの円形の孔を設けてある。そのフック孔8より離間した下方には、(b)に示すようなU字型のフック102用の第2のフック孔9として、吊り下げ方向Nの幅が約4mmで、吊り下げ方向Nに対して垂直方向Mの幅が約31mmで、両端が半円の長円状の孔を設けてある。

【0013】図2～図4は、フック孔を容器に付設した吊り下げ用の部材に設けた、吊り下げ用容器における実施例である。本実施例の吊り下げ用容器11は、硬質の塩化ビニルで形成した容器本体12の三方の側壁板13、14、15と、軟質の塩化ビニルで形成した底部16とを熱溶着17して容器を形成し、軟質の塩化ビニルで形成した蓋部18とフック孔を設けるための吊り下げ用の部材19を一体に形成したものを、容器の開口側の底部16の端部に熱溶着20してなるものである。吊り下げ用容器11としては、従来からある構造のものである。

【0014】上記吊り下げ用の部材19に、前記実施例の場合と同様にして、図5の(a)に示すようなL字型のフック101用の第1のフック孔21としての約8mmの円形の孔と、(b)に示すようなU字型のフック102用の第2のフック孔22としての、吊り下げ方向Nの幅が約4mmで、吊り下げ方向Nに対して垂直方向Mの幅が約31mmで、両端が半円の長円状の孔を設けてある。

【0015】23は、蓋部18を閉じた状態に保持するためのバンドである。

【0016】前記バック商品用袋1や吊り下げ用容器11に、従来と同様に筆記具等の商品を収納して、第1のフック孔8、21にL字型のフック101を係止しても、第1のフック孔8、21や第2のフック孔9、22の形状は、従来のフック孔の場合のように変形することはない。また、第2のフック孔9、22にU字型のフック102を係止しても、従来のフック孔の場合のように

変形することなく、僅かに変形するだけであった。

【0017】

【発明の効果】本発明は、吊り下げ用容器またはバック商品用袋において、フック孔を前述したように設けたので、吊り下げ用容器又はバック商品用袋に商品を収納して陳列用台等に付設されたフックに係止して吊り下げても、容器又は袋内に収納された商品の重みによりフック孔の変形が従来のように起こらない。従って、従来のものと比較して、フック孔の周り部分には亀裂が生じにくい。

【0018】フック孔を形成した部分又は吊り下げ用の部材の材料を硬質のものに変えたり、その部分の厚みを変えたりしてフック孔を設ける部分の補強加工を施すものではないので、従来のものに比べてコストが高くなるということがない。また、フック孔を2つ離間して設けるだけなので、従来の吊り下げ用容器又はバック商品用袋におけるフック孔を設ける部分が、2つのフック孔を設けるスペースがあれば、従来の吊り下げ用容器またはバック商品用袋の形態を全く変えることなく利用できるという利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明におけるフック孔を設けた、バック商品用袋の正面図である。

【図2】容器又は袋本体に付設された吊り下げ用の部材に、本発明におけるフック孔を設けた、吊り下げ用容器の正面図である。

【図3】前記吊り下げ用容器の側面図である。

【図4】前記吊り下げ用容器の背面図である。

【図5】陳列用台等に付設されたフック部分の形状を示す斜視図である。

【図6】従来の吊り下げ用容器の正面図である。

【図7】従来の吊り下げ用容器を、陳列用台等に付設されたフックに係止した状態を示した図である。

【符号の説明】

- 1 バック商品用袋
- 8 第1のフック孔
- 9 第2のフック孔
- 11 吊り下げ用容器
- 19 吊り下げ用の部材
- 21 第1のフック孔
- 22 第2のフック孔
- 101 L字型のフック
- 102 U字型のフック

